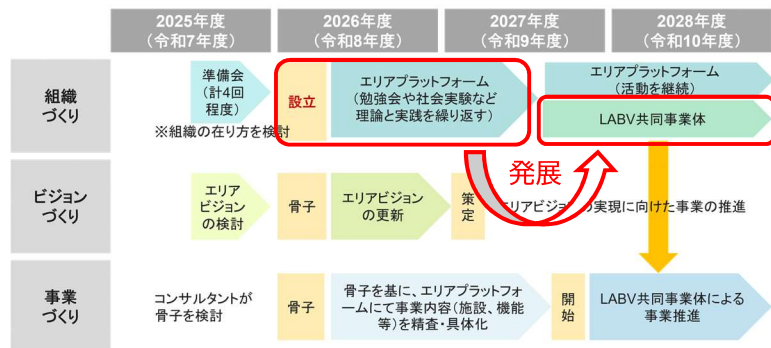




概要

■ 村上市版エリアプラットフォームとは？

- ・村上駅周辺まちづくり事業を市内事業者が主体となって推進するために、関係者がエリアの将来像を共有し、具体的な事業内容を共に協議・検討する組織体です。2026年度(令和8年度)の正式設立を目指します。
- ・将来的に、LABV(Local Asset Backed Vehicle)と呼ばれる官民連携手法を導入して事業を実施することを想定しています。LABVとは、市が土地などの公的不動産を現物出資し、民間事業者が資金出資等を行って官民共同事業体を設立した後、同事業体が主体となって複数のプロジェクトを実施していくやり方です。
- ・「エリアプラットフォーム(仮)設立準備会」は、その実現に向けた準備組織として位置づけており、組織のあり方やエリアの将来ビジョンについて議論を重ねていきます。



■ 全体スケジュール

開催日	主な検討内容
第1回 (9/25)	・ エリアプラットフォームの位置づけ、目的、方向性の確認
第2回 (11月上旬)	・ 組織のあり方やエリアビジョンについてのアイデア出し
第3回 (12月上旬)	・ 組織のあり方やエリアビジョンについての議論・具体化
第4回 (翌1月下旬)	・ 組織のあり方やエリアビジョンの骨子の決定

■ 第1回準備会の実施概要

日時	9月25日(木)17:00~18:30
場所	村上市役所本庁 5階第5会議室
参加人数	26名(市内事業者13名、村上市6名、アドバイザー(新潟県)1名、コンサルタント6名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ エリアプラットフォーム設立準備会の説明 ・ エリアプラットフォームに関する質疑応答・意見交換 ・ 今後の予定の確認



意見交換の内容

■ 村上市担当者の想い

- ・ 村上駅周辺まちづくり事業は、本市にとって極めて重要な取組の一つである。
- ・ 「村上駅周辺まちづくりプラン(基本構想)」を基盤とし、市内事業者の皆さまと共に具体的な事業内容をつくりあげていきたい。
- ・ 整備すべき施設の詳細が現時点で全て決まっているわけではないため、事業用地の一部から事業を展開するスモールスタートの可能性についても議論していきたい。
- ・ 今後は、荒川から山北まで全地域からの参加を得たい。また、女性の参加も積極的に募っていきたい。
- ・ 「パブリックマインドの醸成」、そして「未来の人々に誇れる新しい価値づくり」を目指し、市民の皆さまに駅周辺の未来予想図を自分事として考えていただき、共に形にしていきたい。

■ 参加者からの意見

テーマ	主な内容
組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ エリアプラットフォームの名称は、村上市らしさを感じられるユニークなもので誰もがわくわくするようなものにするのが望ましい。 ・ 市外へ出て行った人が再び村上市に戻り、活躍できるような場所や、原体験を得られる仕組みをつくることをミッションとして掲げてはどうか。
エリアビジョンづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ この組織で将来像となるエリアビジョンを考えていくものと理解した。各出席者の意見から共通するものを取りまとめて、1つのものを作り上げていくことに面白さを感じる。 ・ エリアビジョンの策定は良いことだと思う。魅力的なものを用意することが重要であり、空間のデザイン力も求められる。多くの方から共感を得られるようなものを作りたい。 ・ 地元の若手団体等からもアイデアを募り、多くの意見を集めたい。 ・ 市民向けにも早めにエリアビジョンを公表することが望ましい。



■ 会議風景



全体風景



意見交換の様子